



新山 勝久 議員
(一括質問方式)

- ① 光ファイバー網整備
- ② 消防団の充実・強化
- ③ 福祉施設

光ファイバー網整備について

問 光ファイバー網の設備には、多額の資金が必要だと聞いているが、本市の山間地域の活性化につながるインターネットを全的に整備すべきと考えるがどうか。

答 光ファイバー整備については、市内全域でみると未整備地区が多数残っている状況であることから、今後市内全域に整備することは、学校施設の耐震化や公共施設の維持補修など、安全・安心のための優先すべき事業に多額の費用を要することが想定されていますので、かなり困難な事案であると考えています。

市としては、光ケーブルの整備に代わるものとして、市町村合併を機に行政用として整備した光ケーブルの空き芯線を通信用業者に貸し出しをし、民設民営による

サービスエリアの拡張を方針として進めています。
引き続き各通信事業者への働きかけを継続し、民設民営での通信環境の整備拡大に努めていきたいと考えています。

消防団の充実・強化について

問 平成27年度当初予算案において消防団員の処遇改善をはじめ、消防団の装備の充実やその他必要な事項についてどのような改善を考えているのか。

答 団員報酬は、それぞれの階級において現行の15%程度の増額を行い、出動手当については、近年増加傾向にある行方不明者発

建て替え予定となっている消防団詰所(肱北分団第6部)



生時の捜索活動を明記し、全ての費用弁償を現在の1日1,800円から2,500円に増額することとされています。また、消防自動車やポンプの点検整備などに伴う費用弁償も同じ率で増額するものとしていきます。また、消防詰所の建て替えや積載車などの消防資機材の更新を継続して実施するほか、消防団の装備の基準に基づき安全装備品の整備を行うなど、消防施設整備に取り組んでいきます。

また、地域を挙げて団員の皆様をバックアップしていく体制として、団員を雇用し消防団活動に協力をお願いしている事業所を顕彰する消防団協力事業所表示制度による職場環境の整備や、団員の皆様が市内各店舗を御利用いただいた際、一定のサービスが受けられる消防団員応援事業所の募集を積極的に展開していきたいと考えています。

福祉施設について

問 福祉施設数及び入所者数の現状とグループホームなど施設される入居待機者数、また、今後の施設の整備計画はどうなっているのか。

答 現在大洲市が指定権限を有している地域密着型サービスの

施設は、グループホームが12施設、206人分、小規模多機能型居宅介護が1施設、25人分、認知症対応型通所介護が1施設、12人分という状況です。第5期介護保険事業計画期間中においては、グループホーム36人分、介護つき有料老人ホーム50人分を整備し、地域密着型介護老人福祉施設については、平成27年度及び平成28年度において合わせて58人分が供用開始される見込みとなっています。

そのほか、市内には特別養護老人ホームが4施設、195床、老人保健施設が3施設、244床整備されているほか、サービスつき高齢者向け住宅も今年度整備をされています。

グループホーム入居待機者数等については、昨年6月末の待機者調査の結果、合計251名となっていますが、第5期介護保険事業計画期間中において160人分の施設整備が計画されており、待機者解消につながるものと考えています。今後は、認知症高齢者の増加に伴い入居待機者の増加が見込まれますが、地域密着型サービスの利用量は平成32年ごろにはピークを迎えると考えています。このため、第6期介護保険事業計画においては、認知症対応型共同生活介護グループホームを18人分整備する計画としています。